

とちぎの未来を担う経営者育成研修会を開催しました！

令和7年2月20日（木曜日）、雇用環境の改善に取り組む農業者を対象に研修会を開催しました。今回は、「農業を働きやすく選ばれる職場へ」をテーマに、事例紹介とパネルディスカッションを行い農業者等108名が参加しました。

参加者からは、雇用の管理について積極的な質問があり、経営改善への意欲の高さがうかがえました。引き続き、栃木県農業士会、栃木県女性農業士会と連携しながら、次世代の農業を担う農業者の育成を行っていきます。

とちぎの未来を担う経営者育成研修会 ～ 「農業」を働きやすく選ばれる「職場」へ～

1 目的

人材獲得競争が激化する中、農業経営の発展・改善に必要な雇用労働力を獲得するには、働き手が求める労働環境を整備していくことが重要となっている。このため、法人化や雇用環境改善に取り組む農業者等に向けて先駆的な雇用環境改善の取組を発信し、本県農業の未来を担う農業経営者育成を促進する。

2 主催 栃木県、栃木県農業士会、栃木県女性農業士会、とちぎ農業経営・就農支援センター

3 日時 令和7（2025）年2月20日（木）13時30分～16時40分

4 場所 栃木県庁 研修館講堂

5 参加者 108名 会場67名、オンライン41名

6 内容

（1）事例紹介

・株式会社長谷川農場 代表取締役 長谷川 良光 氏

演題：日本一の農業集団になる！ 失敗経験からの到達点

・株式会社ベリーズバトン 代表取締役 新井 孝一 氏、事業部長 松澤 真典氏

演題：①「農業」を働きやすく、選ばれる「職場」へ ベリーズバトンの取り組み！

②企業化を目指す具体的な取組

（2）パネルディスカッション

○テーマ 農業に多様な人材を呼び込む雇用環境づくり

話題1：人材の確保と育成 話題2：ずっと働いてもらえる職場とは

○パネリスト 栃木県農業士会 会長 土屋恭則 氏 栃木県女性農業士会 会長

室井真佐美 氏、株式会社長谷川農場 長谷川良光 氏

株式会社ベリーズバトン新井孝一 氏、松澤真典 氏

○アドバイザー 社会保険労務士 福田哲夫 氏

○コーディネーター 栃木県農政部経営技術課 岩崎慎也



7 概要

(1) 事例紹介

株式会社長谷川農場 代表取締役 長谷川 良光 氏

演題：日本一の農業集団になる！ 失敗経験からの到達点

- ・人を雇う上で必要なことは、自らの農業観を持ち何をを目指すのか明確にすること。
- ・単に忙しいからという理由で求人しても雇った人が長続きしない。
- ・採用時は、会社の目標を明示し見学会やインターン制度によりミスマッチを防いでいる。
- ・採用後は、定期的にミーティングを行い意識共有を図っている。
- ・従業員には目標を立ててもらい、農場の一員として主体的に働いてもらうこと促している。

株式会社ベリーズバトン 代表取締役 新井 孝一 氏、事業部長 松澤 真典氏

演題：①「農業」を働きやすく、選ばれる「職場」へ ベリーズバトンの取り組み！（新井氏）

②企業化を目指す具体的な取組（松澤氏）

- ・就農後、他産業に比べ労働環境が悪いことを実感し、これでは農業をやる人がいなくなる
と危機感を抱いた
- ・作業量に見合った労働力を確保し、収量増加など収益性の改善を図った。
- ・新社屋建設など福利厚生の充実、柔軟な勤務時間、従業員の努力が反映される給与体系な
ど選ばれる職場づくりに取り組んだ。
- ・自ら主体的に考え行動できるように、勉強会や職場改善ミーティングなど、人材教育に力
を入れている
- ・働く仲間が増えたことから、将来ビジョンを共有できる人財を他産業からスカウトした。

(2) パネルディスカッション

○テーマ 農業に多様な人材を呼び込む雇用環境づくり

話題1：人材の確保と育成

- ・経営規模に応じて、必要となる人材とは
- ・一緒に働いてもらう人をどうやって呼び込むか
- ・現場を任せられる人材の育成（キャリアアップ）
- ・これまで、どんな苦労をして改善してきたか

話題2：ずっと働いてもらえる職場とは

- ・求人方法や採用時に心がけていること
- ・採用後の従業員への寄り添い方（やる気を引き出すには）
- ・給与体系、労働環境（休暇、福利厚生、改善提案など）
- ・魅力的な職場とは（農業らしさを含め、心がけていること）
- ・雇用される側からみた働きたい職場とは 掲載